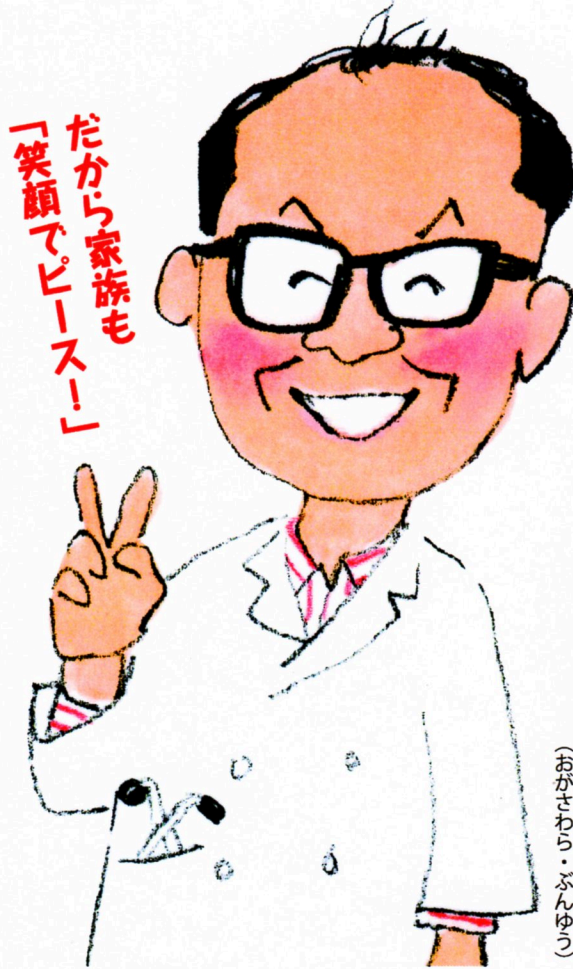


在宅医療の名医が綴った

「自宅だからこそ」の希望と感涙の書!

「最期まで家で暮らしたいけれど……」
 お金がない? 家族に迷惑がかかる?
 ひとり暮らし? がん? 認知症?
 大丈夫です。安心してください。
 最期まで笑顔で長生き、びんびんころりの
 「めでたいご臨終」してみませんか?



小笠原文雄

日本在宅ホスピス協会会長

(おがさわらひびんぼろ)

だから家族も
 「笑顔でピース!」

- ♥「退院したら5日の命」と余命宣告されたながら、5年経った今も元気に暮らす患者さん
- ♥「今がいちばん幸せ」と話す末期がんの女性
- ♥看取った直後にご遺体を囲み、笑顔でピースするご家族ほか――
- ♥笑顔と奇跡のエピソードと写真が満載!!

室井滋さん
 驚嘆大絶賛!!
 「何回も何回も泣いて、
 元氣と勇氣がわきました」



なんと
 めでたい
 ご臨終

話題沸騰!
 売り切れ続出!!

定価: 本体1,400円+税

●四六判 / 320頁 ISBN978-4-09-396541-5



(著者プロフィール)
 医療法人聖徳会 小笠原内科院長。1948年岐阜県生まれ。医学博士。日本在宅ホスピス協会会長。岐阜大学医学部客員臨床系教授。73年名古屋大学医学部卒業。名古屋大学第一内科(循環器グループ)を歴て、89年に岐阜市内に小笠原内科を開院。以来、在宅看取りを1000人以上、ひとり暮らしの看取りを50人以上経験。がんの在宅看取り率95%を実践している。共著に『下野千鶴子が聞く小笠原先生、ひとり家で死ねますか?』がある。

- 第1章 家なら最期まで好きなこととして過ごせる
- 第2章 余命宣告をくつがえす患者さんたち
- 第3章 ひとり暮らしでも、お金がなくても、大丈夫
- 第4章 看取った直後に、家族が笑顔でピース
- 第5章 在宅医療に失敗ってないの?
- 第6章 いのちの輝き

小学館

小学館愛読者サービスセンター TEL.03-5281-3555
<https://www.shogakukan.co.jp>